

みんなのちほ

平成18年 3月号

社団法人横浜市都筑医療センター

〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 1-23-4

都筑医療センター訪問看護ステーション	TEL 045-913-5181
都筑ヘルパーステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会居宅支援センター	TEL 045-911-6100
都筑医療センター介護福祉用具センター	TEL 045-911-6100
共通FAX	045-911-6700

梅のつぼみがようやく開きました。今年はいつにも増して嬉しく感じます。近くの公園も遠くから見ると、うっすらとピンク色に染まっています。春がそこまで来ています。

さて、介護保険が始まって6年になります。4月からまた、大きな改正があります。一番大きな改正点は、支援1、支援2という新しい区分ができることです。介護が必要になる前に、予防に力を入れるということで、高齢者の方の持っている力、を伸ばしていこう、介護状態になることを予防しようということです。

PPK（ぴんぴんころり）という言葉があります。できるだけ長く、自分の事は自分でやりたいようにして、ころりとあの世に行きましょうということのようです。

『元気で長生き』をしたいものです。

松田

こんにちは



平成 18 年 3 月号

今月の豆知識: 雛祭り

3月3日は雛祭りです。もっともこれを「桃の節句」と言ったのは、旧暦の3月3日が桃の花が咲く時期に当たるため、今の時期はまだ梅しか咲いていません。そこで、月遅れで行うところもあるようです。(こういう新暦の月の遅れで行事するやり方を中暦と言います)

この桃の節句には、古くは桃の花を愛でたり、桃の花を浮かべたお酒を飲んだりして楽しみ、桃の葉を入れたお風呂に入って無病息災を願いました。また、そもそも中国伝来思想として、桃には魔除けの力があるという考えがありましたので、この日は禊ぎ祓いの日とも考えられました。その代表が流し雛で、人のけがれや災いなどを形代に移して川に流して不浄を祓う行事です。いつしかこれが「ひいな遊び(おままごと遊び)」と合流して、「雛祭り」が生まれたという背景もあるようです。

都筑医療センター 訪問看護ステーション 10周年記念講演

日時：平成 18 年 4 月 15 日 (土) 13:30~17:00

場所：都筑区役所 6階大会議室

テーマ：「都筑の地域医療・在宅療養を考えよう」

特別基調講演：「がんばらない けど あきらめない」～地域でいのちを支える～

講師：諏訪中央病院 名誉院長 鎌田 寛 先生

シンポジウム：「都筑区医師会在宅ケア 10年の取り組み」 小林クリニック 小林雅子医師

「在宅での終末期ケアと看取り」 都筑医療センター 吉井涼子 看護師

「介護者を含めた介護支援～巡回ヘルパーの役割～」

都筑ヘルパーステーション 宮川朝子 介護福祉士

※ 入場(無料)をご希望の方は、別紙の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ケアマネジャー 看護師・ヘルパーにお渡し下さい。【応募者多数の場合は抽選となります(定員:150名)】

投稿：夜はおまかせ 巡回ヘルパー 佐藤義浩

最近、自分の体に変化しているのを感じます。退化?いや、おそらく進化です。

夜、眠くならないのです。大体、夜の9時位から朝の3時頃まで、目がギラギラしています。中でも、最高に冴え渡るのは「丑三つ時」です。もはや、敵なし……。原因は、どうやら私の仕事(夜勤)のようです。思わぬ副作用があるようで……。

さて、漆黒が空を覆い尽くす頃、また働きにでるとしましょう。夜はおまかせ下さい。

新人紹介 理学療法士: 滝澤 智枝

はじめまして。リハビリの訓練士です。素敵な笑顔と鬼のような訓練を提供したいと思います。心の準備をしておいて下さいね。よろしくお願いします。

新人紹介2 事務員: 三露 美佳

1月から、事務で働いている、【みつゆ】です。なかなかステーションの、皆さんの名前が覚えられず、苦勞しています。これからは電話対応などで、接する機会があると思いますので、よろしくお願い致します。